

麻酔科

統括部長 佐藤 由美

1 部門目標

安全で質の高い麻酔管理・周術期管理を提供することを目指す。

他部署や手術室スタッフとの円滑なコミュニケーションを図り、手術室の効率的な運営に努める。

2 業務体制・スタッフ

統括部長：佐藤由美 部長：吉田亜紀子、篠原彩子 主任医長：村松隆宏

医長：小金澤実由 非常勤：熊切由美子、

夜間および休日は待機体制

3 業務実績

【麻酔管理症例数】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全身麻酔	978	1061	1069	1298	1369
吸入麻酔	429	391	267	300	228
完全静脈麻酔	390	293	222	397	429
硬膜外併用 吸入麻酔	85	187	257	184	172
硬膜外併用 完全静脈麻酔	74	190	323	417	540
局所麻酔	257	311	313	315	298
脊髄硬膜外麻酔	242	283	280	281	245
硬膜外麻酔	5	8	8	11	16
脊髄くも膜下麻酔	10	18	23	18	26
その他	0	2	2	5	1
総計	1220	1372	1382	1613	1667

4 1年間の総括

新病院移転を見据えた診療体制の強化を進めつつ、各診療科や手術室スタッフとの連携を深め、円滑な手術室運営に努めた。脳神経外科や整形外科を中心に手術件数が増加し、麻酔科管理症例全体としても前年を上回る件数となった。現在手術室5室と限られた環境であるが、関係部署やスタッフと協力して効率的なスケジュール管理と手術室稼働率の向

上に取り組んだ。定時手術に加えて、緊急手術も可能な限り受け入れることで、地域医療に於ける急性期医療ニーズに応じている。

産科医療においては、麻酔分娩（無痛分娩）管理の整備をしつつ、症例数の増加に対応した。

5 今後の目標

令和8年度に予定されている新病院への移転に際し、麻酔科としては、安全かつ円滑な移行を最優先とし、新たな手術室の運営を速やかに立ち上げ、早期に安定した周術期管理体制を確立することを目標とする。

手術室が9室へと拡充され、これに伴い手術件数の増加や新たに加わる診療科、既存診療科における手術内容の高度化・多様化への対応が求められる。麻酔科として効率的かつ質の高い周術期管理を提供し、チーム医療の要として各診療科や手術室スタッフとの積極的なコミュニケーションを図りながら、病院全体としての急性期医療に貢献していきたい。

また、産科領域において、麻酔分娩（無痛分娩）の拡充を進めるとともに、先天性心疾患や循環器系合併症を有する妊婦を含めた周産期管理体制のさらなる充実を目指す。

手術患者の入院期間が短縮されるなか、新病院では麻酔科術前外来を整備し、外来での術前診察・麻酔説明や必要な追加検査を行う。ハイリスク症例の相談にも対応し、限られた入院期間の中で安全かつ円滑な麻酔導入を支える診療体制を確立していきたい。